

2001年12月の東北地方の天候

【12月の特徴】

- ・低温
- ・14~16日に東北南部で大雪

(1)概況

寒気が持続的に流れ込み、気温の低い日が続いた。また冬型の気圧配置となる日が多く、東北日本海側では雪の日が多くなったため、降雪量は平年比148%と平年を上回った。東北太平洋側では晴れまたは曇りの日が多くなった。

中旬は強い寒気が南下し、14~16日は東北南部で大雪となった。

平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

注) 平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、2ページ目下段の脚注を参照して下さい。

(2)天候経過

上旬： 前半は気圧の谷が短い周期で通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。このため、東北日本海側では雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れまたは曇りの日が多くなった。後半は冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪となったが、東北太平洋側は晴れた。

平均気温は低い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。

中旬： 冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では雪となったが、東北太平洋側では晴れまたは曇りの日が多くなった。14~16日は上空に強い寒気が入り、強い冬型の気圧配置となったため、東北南部を中心に大雪や暴風雪となり、交通障害等が発生した。15日の日降雪量は、若松52cm、山形36cm、仙台19cm、福島19cm等を記録した。

平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

下旬： 冬型の気圧配置は長続きせず、気圧の谷が短い周期で通過した。

このため、東北日本海側では雪の日が多くなったが、晴れる日もあった。東北太平洋側では晴れまたは曇りの日が多くなった。30日は寒冷前線の通過に伴い、東北各地で暴風となり、秋田では最大瞬間風速36.6m/s(12月として歴代1位)を記録した。

平均気温は低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。

(3) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪の3位まで。ただし、白河の月降水量と新庄・むつ・白河の月最深積雪は、統計期間が短いため1位に該当した場合のみ示す。)

月平均気温低い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温()	これまでの最低()(年)	統計開始年	平年値()
2位	新庄	0.2	0.0(1985)	1985	1.4
3位	大船渡	1.8	0.9(1974)	1963	3.5

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最少(mm)(年)	統計開始年	平年値(mm)
3位	盛岡	29.5	26.0(1975)	1923	64.5

月日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最多(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
3位	盛岡	125.0	149.3(1966)	1923	104.4

月日照時間少ないからの順位更新

順位	地点名	日照時間(h)	これまでの最少(h)(年)	統計開始年	平年値(h)
2位	青森	23.4	20.6(1956)	1956	54.7
3位	若松	48.7	42.0(1992)	1953	72.0

(4) 月気候表(2001年12月)

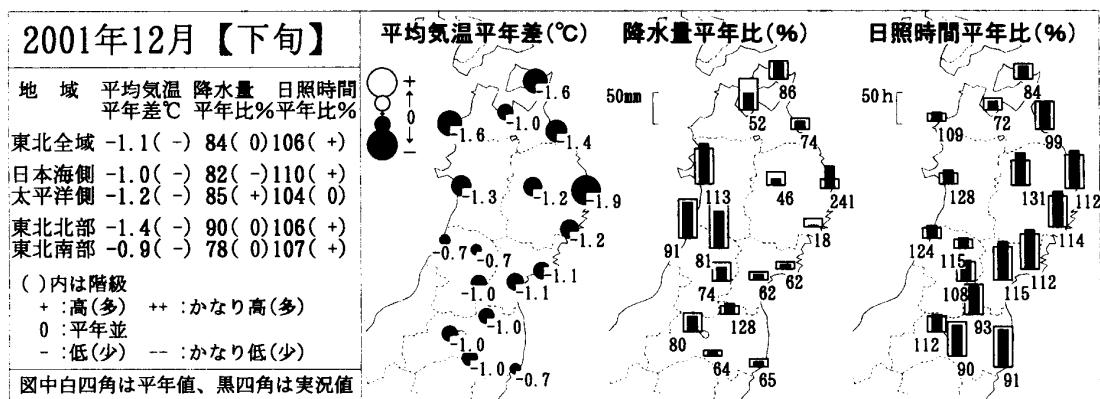
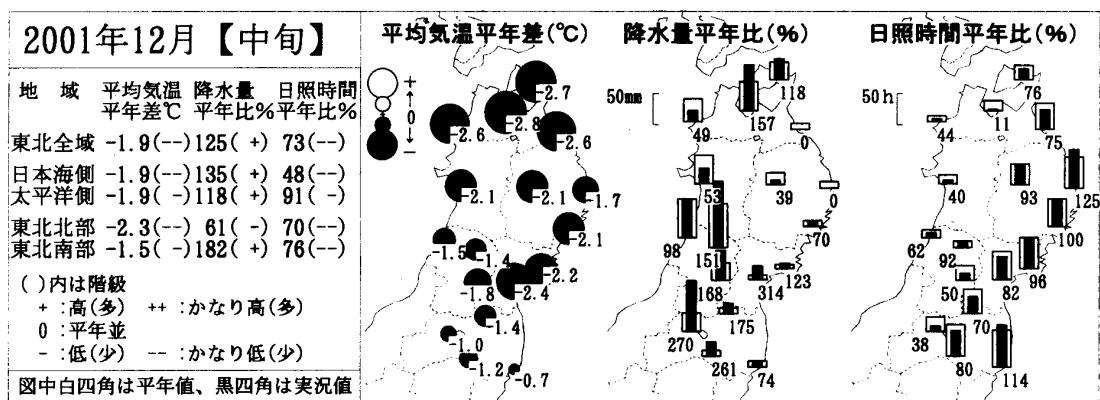
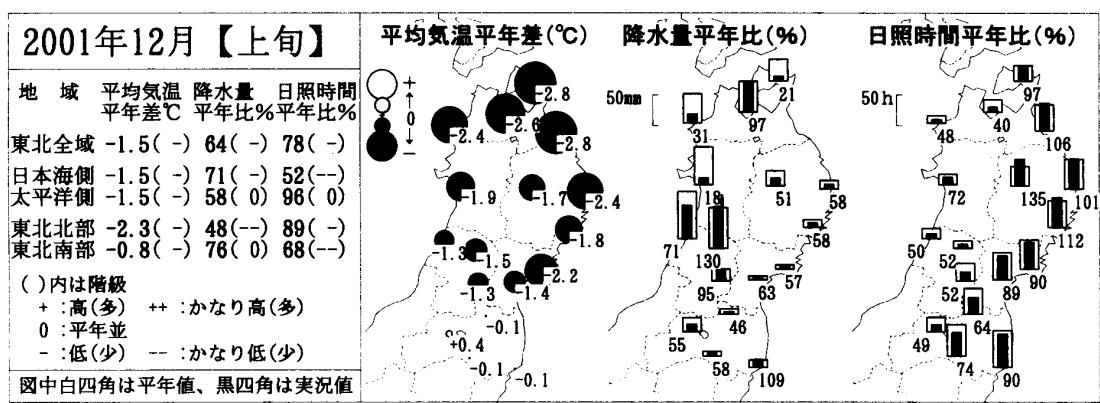
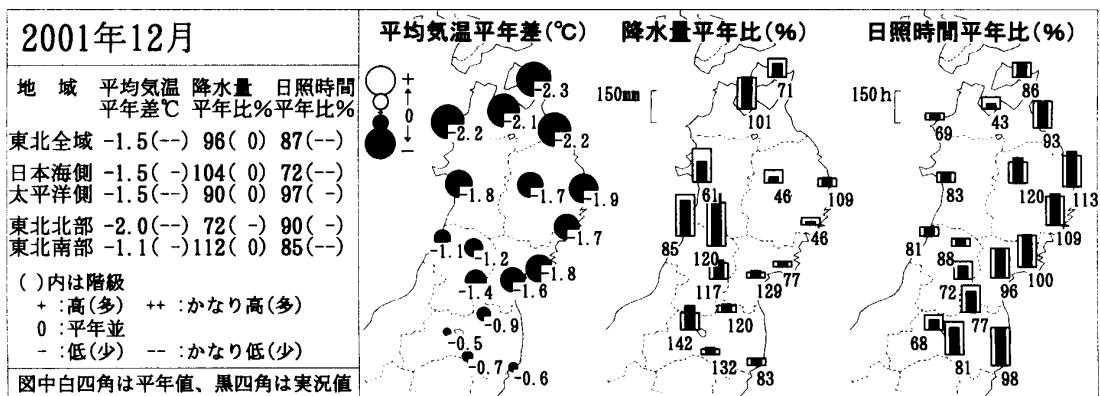
地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)			月最深積雪 cm 階級	
		mm	%	階級	h	%	階級		
青 森	-0.8 (-2.1) *	149.5 (101) 0			23.4 (43) *			79	+
深 浦	0.3 (-2.2) *	x (x) x			23.8 (69)			19	0
む つ	-1.1 (-2.3) *	66.5 (71) *			63.6 (86)			28	+
八 戸	-0.6 (-2.2) *	x (x) x			119.8 (93)			10	0
秋 田	1.0 (-1.8) *	99.5 (61) *			39.7 (83)			18	0
盛 岡	-0.9 (-1.7) *	29.5 (46) *			125.0 (120) + *			18	0
宮 古	1.1 (-1.9) *	43.5 (109) +			171.1 (113) + *			15	+
大船渡	1.8 (-1.7) *	17.0 (46)			151.7 (109) +			11	+ *
山 形	1.0 (-1.4)	90.0 (117) +			61.3 (72) *			36	+
新 庄	0.2 (-1.2)	253.5 (120) +			33.0 (88) 0			79	+
酒 田	3.2 (-1.1)	172.5 (85)			36.5 (81)			14	+
仙 台	2.7 (-1.6) *	34.0 (129) +			139.2 (96)			18	+ *
石 卷	1.6 (-1.8) *	19.0 (77) 0			155.7 (100) 0			9	+
福 島	3.3 (-0.9)	39.0 (120) 0			100.1 (77) *			17	+
白 河	2.0 (-0.7)	33.0 (132) +			128.6 (81) *			29	+ *
小名浜	5.5 (-0.6)	29.0 (83) 0			181.4 (98) 0			-	0
若 松	1.4 (-0.5)	118.5 (142) +			48.7 (68) *			60	+

* : 欠測) : 欠測日を含む --- : 現象なし

階級は + : 高い(多い) 0 : 平年並 - : 低い(少ない) * は「かなり」を表す

階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(5) 2001年12月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。